

第3章 マレーシアで暮らすロヒンギャ

ジアウル・ラフマンさんは、2014年に難民キャンプ（バングラデシュ）で誘拐され、マレーシアに連れてこられた。だがマレーシアでは「不法移民」とみなされ、正規の労働は許されず、社会保障も受けられない。妻と2人の子どもと暮らすが、生活は苦しい。

写真はいずれも鶴颯人



バングラデシュの難民キャンプで誘拐され、マレーシアで暮らすジアウル・ラフマンさん



『ジアウルさんと2人の子ども』



『ジアウルさんと長女のシュミさん』



幼少期に国連のプログラムで渡英した従妹の口ジナさん（左2人目）